

ラミネーターを快適にご使用いただくために

※本製品の上に覆いをかけたり、物をのせないでください。

※ほこりの多い場所に置かないでください。

※ラミネーターを快適にご使用いただくために、下記 1 ～ 9 をお読みいただき、厳守してください。

※ローラーのクリーニング不足、誤った使用方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに操作スイッチを **REVERSE** 側にスライドさせ、フィルムを引き出してください。(手順は下記 7 にしたがってください)

1 ラミネートできる厚さ(フィルムと紙の総厚さ)は 0.4mm 以下です。

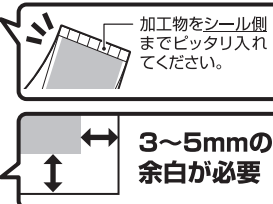
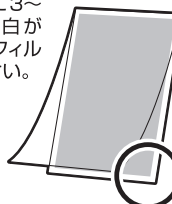
紙が厚すぎると、フィルムが詰まり、故障の原因になります。
※対応フィルム厚は、100～150 μ m になります。



2 加工物とラミネートフィルムの大きさを揃えてください。

加工物の周囲に 3～5mm 程度の余白ができる大きさのフィルムをご使用ください。

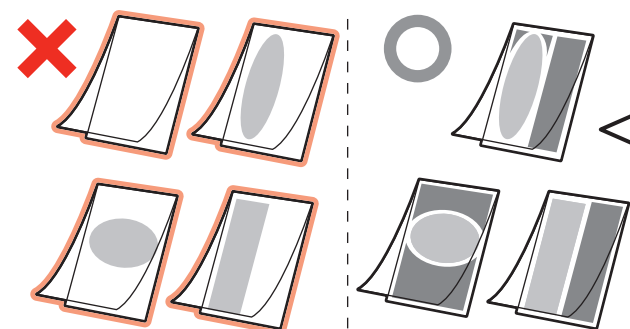
※周囲に余白がない場合、うまくラミネートができません。



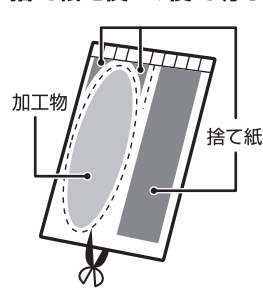
3 異形物(空白が生じる加工物)をラミネートする場合は、捨て紙を入れてください。

異形物をラミネートする場合、何も挟まない部分がある状態でラミネートすると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となりますので、捨て紙を使い「何も挟まない部分」が無い状態にしてください。

※フィルムだけでラミネートしないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因になります。

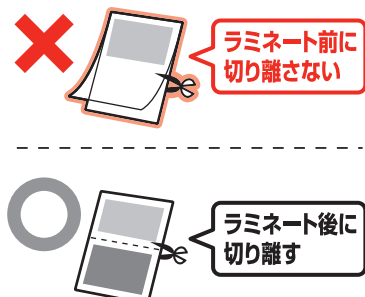


捨て紙を使い、後で切る



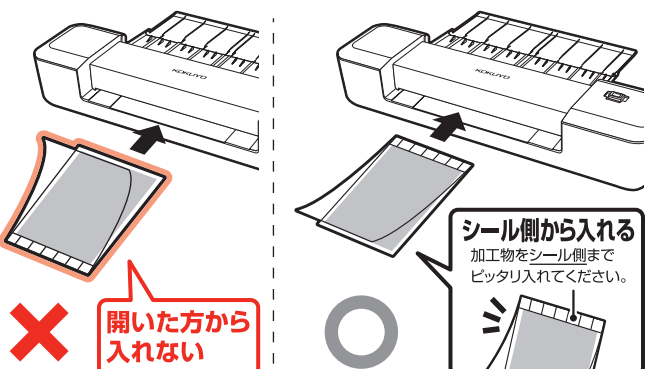
4 使用前にフィルムを切らないでください。

ラミネートする前に、フィルムを加工物の大きさに合わせて切らないでください。フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



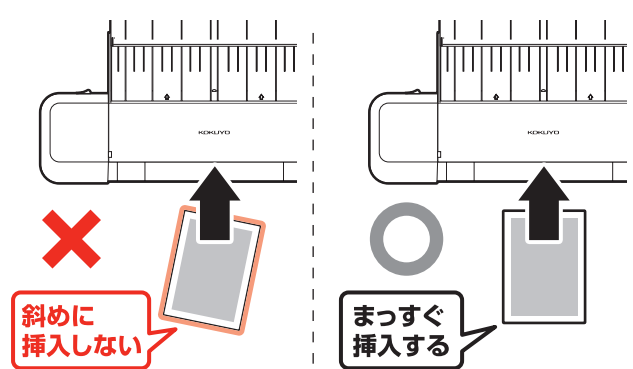
5 フィルムを挿入する方向に注意してください。

ラミネートする際には、フィルムのシール側から挿入してください。逆から挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。



6 まっすぐ挿入してください。

ラミネーターには、フィルムをまっすぐ挿入してください。斜めに挿入すると、フィルム詰まりが発生し、故障の原因となります。

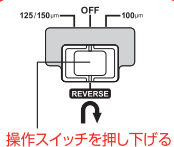
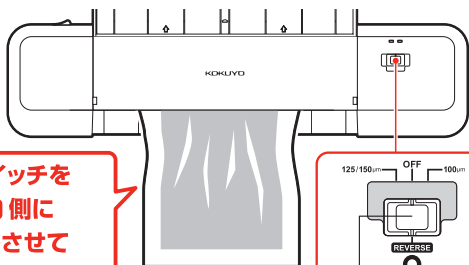


7 フィルムが詰まった場合。

ローラーのクリーニング不足、誤ったフィルムの挿入方法等により、本体にフィルムが詰まった場合は、すぐに操作スイッチを **REVERSE** 側にスライドさせ、フィルムを引き出してください。

※できるだけ早くフィルムを引き出して取除いてください。

※フィルムを取除いた後は、クリーニングシートを通してからご使用ください。



8 適切な温度設定のために、フィルムの厚みにあわせて「操作スイッチ」を設定してください。

「操作スイッチ」の設定を誤ると、フィルムが波打ったり、詰まったりします。

操作スイッチの設定に注意



9 使用前・使用後は、クリーニングをしてください。

ローラーの汚れが取り除けます。汚れがあると、仕上がりが汚くなったり、フィルム詰まりによる故障の原因になります。

※付属のクリーニングシートが汚れた場合、別売のパウチ用クリーニングシート KLM-CLA3 (A3サイズ) または、KLM-CLA4 (A4サイズ) をご購入ください。

クリーニングシートでお手入れ

